

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請に係る法令試験問題

受験番号 _____

申請者名（法人名） _____

受験者の氏名 _____

（注意事項）

- 1．事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者を指します。
- 2．設問の文中には、一部省略しているものもあります。

．次の記述のうち、正しいものには を、誤っているものには×を
（ ）内に記入しなさい。

問1（欠格事由）

1年以上の懲役又は禁固の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者は国土交通大臣の許可を受けることができない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問2（輸送の安全）

事業者は、過積載による運送を前提とする運行計画を作成した場合は、運転者にその旨を指示しなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問3（公衆の利便を阻害する行為の禁止等）

事業者は、一般貨物自動車運送事業の健全な発達を阻害する結果を生ずるような競争をしてはならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問4（事故の報告）

事業者は、省令で定める重大な事故を引き起こしたときは、遅滞なく、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問5（事業）

地方貨物自動車運送適正化事業実施機関は、自動車の運転者に対し適正診断（自動車の運行の安全を確保するため、自動車の運行の態様に応じ運転者に必要とされる事項について心理学的又は医学的な方法による調査を行い、必要に応じて指導することをいう。）を行う。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問6（過労運転の防止）

貨物自動車運送事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問7（過労運転の防止）

事業者は、酒気帯び、疾病、疲労その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがある乗務員を事業用自動車に乗務させてはならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問8（運賃及び料金の届出）

事業者は、運賃及び料金を定めあらかじめ国土交通大臣に届けなければならない。これを変更しようとするときも同様とする。（貨物自動車運送事業報告規則）

（ ）

問9（定期点検整備）

一般貨物自動車運送事業の用に供する自動車は12ヶ月毎に定期点検整備を行わなければならない。（道路運送車両法）

（ ）

問10（労働条件の決定）

労働条件は、労働者が事業者（使用者（ ））より優位の立場において決定すべきものである。（労働基準法）

（使用者とは、労働基準法第10条でいう使用者（事業主等）をいう。）

（ ）

問 1 1 (事業者等の責務)

事業者は、単にこの法律で定める労働災害の防止のための最低基準を守るだけでなく、快適な職場環境の実現と労働条件の改善を通じて職場における労働者の安全と健康を確保するようにしなければならない。また、事業者は、国が実施する労働災害の防止に関する施策に協力するようにしなければならない。(労働安全衛生法)

()

問 1 2 (目的)

この法律は、下請代金の支払遅延等を防止することによつて、親事業者の下請事業者に対する取引を公正ならしめるとともに、下請事業者の利益を保護し、もつて公正な取引の拡大に寄与することを目的とする。(下請代金支払遅延等防止法)

()

問 1 3 (従業員に対する指導及び監督)

事業者は、運転者ごとに、国土交通大臣が告示で定めるところにより、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣が認定する適性診断を受けさせなければならないことになっているが、対象となる運転者として正しいものには を、誤っているものには×をつけなさい。

(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(ア) 死者又は負傷者が生じた事故を引き起こした者 ()

(イ) 勤務中に道路交通法における最高速度違反をした運転者 ()

(ウ) 65才以上の高齢者 ()

問 1 4 (運行管理者の業務)

次のうち、運行管理者が行わなければならない業務として正しいものには を、誤っているものには×をつけなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(ア) 運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持すること。 ()

(イ) 貨物の積載方法について、従業員に対する指導及び監督を行うこと。 ()

(ウ) 貨物の取扱い等の運送に関して苦情の申し出を受け付けた場合に、当該内容を記録し、1年間保存すること。 ()

問15（許可の基準）

次のうち、許可をする際の基準として正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。（貨物自動車運送事業法）

（ア）事業計画が過労運転の防止その他の輸送の安全を確保するため適切なもの。
（ ）

（イ）事業計画が経済的かつ環境負荷低減に寄与するもの。
（ ）

（ウ）事業を十分に遂行するに足る資産を有するもの。
（ ）

．次の問題について、該当するものを選び（ ）内に記入しなさい。

問 1（定義）

次の定義に当てはまる事業はどれか 1 つ選びなさい。

「他人の需要に応じ、有償で、自動車（3 輪以上の軽自動車及び 2 輪の自動車を除く。）を使用して貨物を運送する事業」（貨物自動車運送事業法）

- （ア）一般貨物自動車運送事業
- （イ）特定貨物自動車運送事業
- （ウ）貨物軽自動車運送事業

（ ）

問 2（認可）

次の申請のうち、国土交通大臣の認可を要するものとして正しいものを 1 つ選びなさい。（貨物自動車運送事業法）

- （ア）事業の譲渡し及び譲受け
- （イ）運賃及び料金の変更
- （ウ）事業の廃止

（ ）

問 3（事業報告書及び事業実績報告書）

次のうち、事業者が提出しなければならないとされている毎事業年度に係る事業報告書についての提出時期として正しいものを 1 つ選びなさい。（貨物自動車運送事業報告規則）

- （ア）各事業者の毎事業年度経過後 1 0 0 日以内
- （イ）前年 4 月 1 日から 3 月 3 1 日までの期間を毎年 7 月 1 0 日まで
- （ウ）前年 1 月 1 日から 1 2 月 3 1 日までの期間を毎年 5 月 3 1 日まで

（ ）

問 4（過労運転の防止）

事業者は、必要な員数の運転者を常時選任しておかなければならないが、次のうち運転者として選任できないものを 1 つ選びなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

- （ア）日々雇い入れられる者。
- （イ）6 ヶ月間の期間を定めて使用される者。
- （ウ）労働者派遣事業者から派遣された運転者。

（ ）

問5（事業計画）

次のうち、事業計画として記載しなければならない事項となっていないものはどれか1つ選びなさい。（貨物自動車運送事業法施行規則）

- （ア）運行系統のキロ程
- （イ）自動車車庫の位置及び収容能力
- （ウ）各営業所に配置する事業用自動車の種別ごとの数

（ ）

問6（貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等）

使用者は、貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、次に定めるところによります。空欄の【 】内に入る正しいものを ~ の中から選び記入しなさい。（労働省告示第7号 自動車運転者の労働時間等の改善のための基準）

ア．拘束時間は、1箇月について【 】を超えないものとする。

イ．運転時間は、2日を平均し1日当たり【 】、2週間を平均し1週間当たり【 】時間を超えないものとする。

ウ．連続運転時間は、【 】を超えないものとする。

4 時間	8 時間	9 時間	1 2 時間	1 6 時間
4 0 時間	4 4 時間	9 2 時間	2 9 3 時間	3 3 0 時間